

新評論

 2017
8・9
 No.277

 発行所 © 新評論 2017年
 〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
 TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
 http://www.shinhyoron.co.jp
 e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
 振替 00160-1-113487 価格税抜


写真。何を撮ったらいいのか……

 写真にかけた全国の高校生たちの青春記録。映画
 「写真甲子園 0.5秒の夏」(11月公開)をノベライズ!

小説 写真甲子園 0.5秒の夏

梶辺 勒

シナリオ/菅原浩志(「ぼくらの七日間戦争」「ほたるの星」監督・脚本)

◆ジャンル:小説、文学/写真

数ある高校生の全国大会、通称「○○甲子園」のなかでとりわけ異彩を放つのが、大雪山の麓、東川町で毎年開催されている「全国高校生写真選手権大会」、通称「写真甲子園」(三四回目)だ。全国五〇校以上が各ブロックの初戦に応募し、審査を経て一八校が本戦出場校として選ばれる。出場校となった各チーム三名の選手と監督(教師)が東川町に招待され、三日間の本戦を戦い抜く。

写真コンテストというと、応募作品だけを見比べて優劣をつける静的なイメージがあるが、「写真甲子園」の本戦はまったく異なる。「風土」や「かけがえのないもの」といったテーマが与えられ、北の大地を汗だくになって駆け回り、選手たちは八枚の組写真を撮ることになる。撮影機材は各チームに同じものが貸与され、初戦で許されていたデジタル加工はおろか、トリミングすら本戦ではNG。その過酷さ、まさに「カメラ版トライアスロン」。

プロの写真家による公開審査がまた厳しい。特に、審査委員長を務めている立木義浩氏の「そんな中途半端な気持ちなら、もう来ないでもいい」といった酷評に、毎回泣き出す選手が出てくる。

つまり、審査されるのは作品だけではなく、作品を通して現れた撮影者の「人間性」となる。高校生にそれを要求するのは酷というものが、それだけに様々なドラマが生まれる。

こんな高校生たちの成長ドラマを、ドキュメンタリーのような撮影手法で映画化されたのが「写真甲子園 0.5秒の夏」。若い俳優たちは、実際の本戦と同じように自ら写真を撮り、プレゼンの文句を考え、そして公開審査でこてんぱんにダメ出しを食らう(演技ではなく、本当に泣き出した俳優もいる)。

小説では、映画で描かれなかった裏側に厚みをもたせると共に、写真の評価についても文章化することにした。誰もが簡単に写真が撮れる時代、高校生たちが作品制作に情熱を傾ける気概を伝えたい。

(かべ・るく)

ISBN978-4-7948-1078-6

6月刊

四六並製 予二二四頁 予一六〇〇円

東川町ものがたり

「町の「人」があなたを魅了する」

一八〇〇円

大雪山 カムイミンタラ

神々の遊ぶ庭を読む

清水敏一・西原義弘(執筆) 二七〇〇円

著者 文筆家兼編集者。人文書版元の編集者を経て独立。編集者としてサブカル本から哲学書まで幅広く手がける一方、評論や小説も執筆。編著書に「仮面ライダー響鬼」の事情」「哲メン図鑑一顔からわかる哲学史」「NHK連続人形劇プリンプリン物語メモリアルブック」などがある。



野忍流忍術(野忍)は、東京の奥座敷「秋川深谷」から世界に向けて、日本文化の発信・啓蒙を行っています。

山里に息づく日本文化の真髄は「忍術」にあり!アニメやアクションにはない現代版忍術教育が、日本と世界を変革する!

職業は忍者

激動の現代^{じだい}を生き抜く術、日本^こにあり!

甚川浩志

◆ジャンル:忍者・忍術/日本文化論/地方創生

マンガや映画の世界でしかなかった「忍者」が、現実のものとしてテレビなどで紹介されることが多くなった。それが理由だろうか、近年では外国人が忍術体験をするという機会が多い。念のために言うが、彼らが求めているのはエンターテインメントではなく、忍者の哲学や日本文化である。現代生活に忍術を取り入れて、今後の生き方に活かそうとしているのだ。

さて、筆者が忍者を職業にしたきっかけは、リーマンショック(二〇〇八年)と東日本大震災(二〇一一年)である。これらが理由で、金融資本主義の崩壊や国家概念の変化が起こると感じた。つまり、既存のルールや組織のあり方では通用しなくなると思い、東京都あきる野市養沢という山里に移り住んで忍者になり、「野忍流忍術(野忍)」を立ち上げたのだ。運営方式としてベンチマークしているのは「ボイスカウト」や「OBS(アウトワード・バウンド・スクール)※」である。どちらもイギリス発祥のもので、青少年や一般人を対象にした野外活動のスクールである。よって、単に「奇をて

らった」ものではなく、山里に息づく日本文化の真髄を国内外に発信・啓蒙することを目的としている。

活動内容を紹介しよう。幼稚園や自治体、企業から、研修の一環として「野忍」が提供している「忍術修行プログラム」などを採用してもらっている。また、二〇一六年からは「かながわ西部コンベンションビューロー(DMO)」の専任忍者として、毎年八月に小田原城内で行われる「風魔まつり」などに出演し、「忍者」をキーワードにして活動を展開している。これらの活動の様子や、「礼を尽くして隙を見せず」という日本文化の概念などを本書で伝えていくのだが、筆者が一番知りたいのは、読者のみなさんの「変化」である。(じんかわ・ひろし)

ISBN978-4-7948-1076-2

8月下旬刊

四六並製 予二四八頁 予二〇〇〇円

※(Outward Bound School: 通称OBS)。世界27ヶ国に35校のネットワークをもつ非営利の世界的冒険教育機関。登山、ロッククライミング、マウンテンバイク、沢登りなど様々な冒険(野外)活動を通して、自己の可能性、自己のあり方、他人を思いやる心など、豊かな人間性を育むことを主な目的として活動を行っている。

著者 1969年大阪生まれ。調査・監査&リスクマネジメント支援を柱に事業展開を行ってきたが、東日本大震災を機に「野忍流忍術(野忍)」を立ち上げて忍者となる。現在、子どもの教育や地方創生の専門家とともに、幼稚園や自治体を対象として活動を展開している。

昭和37年に清水によって発刊された幻の茨城女流詩人会誌「めーでる」創刊号



野口雨情の流れをくむ戦後茨城詩壇の牽引者。今年80歳を迎える市井の女流詩人の、林芙美子を彷彿とさせる詩業の集大成

清水葉子詩集 土の中 石の中へ

清水葉子

◆ジャンル: 詩/日本文学

ここに書かざるをえなかった言葉がある。書かずにはいられた言葉がある。それは決して洗練された言葉のつらなりではないかもしれない。むしろ、どこか野暮ったい感じすら伴っているかもしれない。

けれども、確かに伝わってくるある種の力があるのは確かだ。

ここに、清水葉子という人間がしっかりと存在しているということ。さまざまな人生のできごと、さまざまな苦しみ、悩み、あるいは喜びや楽しみを、常に全身全霊で受け入れ真正面からぶつかってきた一人の女性がいるということだ。

今年八十歳の傘寿を迎える清水葉子は、若き日から生まれ育った地である茨城新聞に詩を投稿し、いくども選ばれて掲載された。それが彼女の詩を書く人生の出発点となった。とはいえ、彼女はしっかりと詩の訓練を受けたことはなく、見よう見まねで、いわば本能に従って詩を描いてきたのだといえるだろう。いま「詩を描いていた」と書いたが、これは彼女にとって詩は「描く」ものだったのではないかという感を、読んでいて受けたからだ。

彼女は詩を書くと同時に、油絵も描く。彼女の描く油絵を見れば、そこにまさに独自の世界があること、彼女が常の人とは異なる目で世界を見ていることが即座に了解されるはずである（実際、彼女の絵は幾度もさまざまな展覧会で賞を受けてもいる）。

根底にある表現の衝動は同じものなのだ。それが絵筆を通して現れると油絵となり、鉛筆を通して現れると詩となる。そういうことなのだ、と思う。

一人の人間の数十年にわたる人生の悲喜こもごもが、ここにはひとつの大きなうねりのようなものとして描き出されている。彼女は生身をさらけ出して、波乱万丈の人生を送ってきた。ここにあるのはその長い時間が凝縮された一つの絵画なのだ。言ってみれば、それは生身の絵なのである。（遠藤 徹 同志社大学教授）

ISBN978-4-7948-1077-9

6月刊

四六上製 予二五六頁十カラー口絵八頁 予二〇〇〇円

刊 密詩集 絹の都

一八〇〇円

クリスモス（詩）/キン・シオタ（訳）

好評 版画でたどる 万葉さんぽ

宇治敏彦（文・画）（恋と祈りの風景）一八〇〇円

著者 1937年生まれ。詩人・画家。困難な生活の中で詩をつむぎ、昭和30年代から茨城新聞の詩欄「木星」に投稿を始める。野口雨情最後の門下生・羽田松雄に師事、茨城女流詩人会を結成し同人誌「めーでる」を主宰した。著書に詩集『野菊の言葉』『石の中から』がある。

スウェーデンが見えてくる

森元誠二

「ヨーロッパの中の日本」 元スウェーデン大使が語るこの国の魅力、光と陰、日本との知られざる関係。
四六並製 二八八頁 二四〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1071-7



スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む

ヨラン・スバネリッド／鈴木実志・編訳

「日本の大学生は何を感じたのか」 投票率85・8%の国では、小学校社会科で何を教えているのか!?
四六並製 二八〇頁 一八〇〇円

「北海道新聞」他紹介
ISBN978-4-7948-1056-4

新しい力

共同通信社編

「私たちが社会を変える」 社会の閉塞感をうち破る50の物語。共同通信の人気連載企画が一冊の本に!
四六並製 三三〇頁 二四〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1072-4



「ようちえん」はじめました!

葭田あきこ

「お母さんたちがつくった『花の森』子ども園の物語」自分たちで、ようちえんを開設したママたちの奮闘記。
四六並製 二〇四頁 二二〇〇円

「福島民報」他書評
ISBN978-4-7948-1057-1

飯田線ものがたり

太田朋子・神川靖子

「川村力ネトがつないだレールに乗って」祝!全線開通80周年。秘境駅をつなぐレールに伝えたい物語があった。
四六並製 二八〇頁 二〇〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1074-8



現代社会用語集

入江公康

学生に大人気の講義が本になった! 博学多識の社会学者がおくる、「あたりまえ」を問いかえす「概念の武器」としての決定版レキシコン。世界との関わり方がきつと変わります。
ISBN978-4-7948-1070-0 近刊
四六変形上製 予一九二頁 予一七〇〇円

著者 一九六七年生まれ。現在、東洋大学、文教大学、立教大学などに非常勤講師。専攻は社会学・社会思想史・労働運動史・労働者文化論・生命倫理など。

北海道／地域産業と中小企業の未来

関満博

「成熟社会に向かう北の『現場』から」北海道・中小企業へのエール! 30年越しの本格的総合研究の成果。
A5上製 五二六頁 七二〇〇円

近刊

ISBN978-4-7948-1075-5



「地方創生」時代の中小都市の挑戦

関満博

「産業集積の先駆モデル・岩手県北上市の現場から」真の内発的「地方創生」の鍵。「北上モデル」のすべて。
A5上製 四二〇頁 六〇〇〇円

「岩手日日新聞」紹介
ISBN978-4-7948-1063-2

世界を治療する

ポール・フアーマー／光橋 翠訳

「フアーマーから次世代へのメッセージ」
「ジ」世界でもっとも有名な医師
の言葉があなたの人生を変える！
四六並製 五二〇頁 四六〇〇円



福島後のエネルギー転換

PP・ハラケチ
P・J・J・ヴェルフェンス／壽福眞美訳

「ドイツは特殊な道が、それとも世界の模範か」 3・11福島第一核電事故の教訓を総合的に検証し、地球規模の「エネルギー転換」の現実的道筋を示した世界最高水準の比類なき研究。

ISBN978-4-7948-1068-7 近刊

A5並製 予三八四頁 予三八〇〇円

著者 Peter HENNICK ヴッパバーク
ル気候・環境・エネルギー研究所前所長。
Paul J. WELFENS ヴッパバーク大学教
授、同大学ヨーロッパ国際経済連関研究所所長。

スーパーマンの誕生

遠藤 徹

「KKK・自警主義・優生学」 アメリ
カを象徴するアイコンの起源とは。
米国の隠蔽された暗部を読み解く。
四六並製 二二四頁 二〇〇〇円

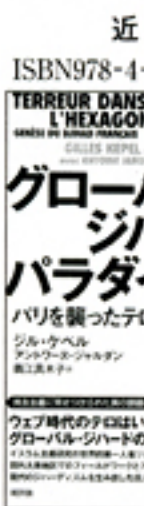


グローバル・ジハードのパラダイム

ジル・ケベル／アントワニス・義江真木子訳

「パリを襲ったテロの起源」
ウェブ時代のテロリズム生成過
程とその背景を多角的に分析。
四六並製 予四一六頁 三六〇〇円

近刊
ISBN978-4-7948-1073-1



「写真記録」これが公害だ

林えいだい

「北九州市「青空がほしい」運動の軌跡」
反骨の記録作家の原点であり、公
害闘争史の発端をなす運動の全貌。
A5並製 一九二頁 二〇〇〇円



大洗さくら弾機事件

林えいだい

「朝鮮人特攻隊員処刑の闇」
「最後の切り札」とされた特攻機
をめぐる不可解な事件の真相とは。
四六並製 二九六頁 二五〇〇円

「朝日新聞」他紹介
ISBN978-4-7948-1052-6



ハイン地の果ての祭典

アン・チャップマン／大川豪司訳

「南米フエゴ諸島先住民セルクナム
の生と死」 稀有な身体彩色で名
高い通過儀礼を詳説。写真50点。
A5上製 二八〇頁 三〇〇〇円



植民地化の歴史

マルク・フエロー／片桐 祐訳

「征服から独立まで（一三〜二〇世紀）」
数百年におよぶ「近代の裏面史」
から、現今の収奪構造を読み解く。
A5上製 六四〇頁 六五〇〇円

「新潟日報」紹介
ISBN978-4-7948-1054-0



シェリー・F・コーブ
井上太一訳 『菜食への疑問に答える13章』 生き方が変わる、生き方を変える

命と食への思考を促す

■評者 服部文祥(登山家・作家)

『読売新聞』本よみうり堂/2017年5月28日付

『ビーガン』とよばれる人がいる。いわゆる完全菜食主義者で、肉魚はもちろん、卵も乳製品も食べない。「殺したくないから肉は食べない」がその思想の根底にある。

情的に引つかかるのも事実である。それは私だけではない。一方でビーガンは難しい質問に晒されるようだ。解答の根底となる著者の柱は明快だ。

肉を食べるなら自分で殺すべきである、が私(評者)を狩猟に導いた理由のひとつである。行程も結論も逆だが思考の中身はよく似ている。だから食べ物やいのちに関して深く考え、たどり着いた思想を表現しようとするビーガンの態度には親近感を感じる。

あきらかに情動を認められる生き物が家畜家禽として残虐な扱いを受けている。それは肉、卵、乳を商品として流通する現在の経済システムのせいである。それを止めるには動物性タンパク質の不買不食しかない。短絡的にも思える結論だが、本書を読めば納得できる。そのうえ菜食は、健康を促進し、温暖化対策、飢餓問題の解決にもつながる。

逆に肉や卵を買うということは家畜の虐殺を認め、推進することである。

植物も生物ではないのか。まったくほかの命を奪わないで生きるのはそもそも無理。動物性のタンパク質を摂らないと健康を害するのでは。それら質問へのまっすぐな解答は続く。食事の楽しみ、栄養、肉食獣の存在、人道的な畜産の可能性。それらは動物の虐待を止めたいという想いに比べればおまけ

ISBN978-4-7948-1058-8

菜食への
Mind If I Order the Cheeseburger?
Not Your Question Merely Ask Yourself

疑問に答える
生き方が変わる、生き方を変える

13章

シェリー・F・コーブ
井上太一訳

健康はどうするの?
お乳や卵はいいんじゃない?
動物も他の動物を食べるけど?

菜食への関心から始まる疑問の連鎖
食生活の次元から環境力の環境をさぐる

四六並製 三三八頁 二五〇〇円

的だが、著者はひとつひとつ丁寧に論を展開し、命と食と健康と経済と正義と道徳に関して思考を促してくる。

「直観で」という言葉が多数出てくるのが気になった。直観に頼ってしまったら「うまい」を覆すのは難しい。菜食者のダシである昆布や干しシイタケに、魚介の代わりは荷が重いと私の直観はささやいている。

●関連書 「動物・人間・暴虐史」

D・A・ナイバート/井上太一訳 三八〇〇円

本を売る

本の大切さ

書店員になれて良かったと思う。それは本当のこと。

私の本好きは、活字中毒の母の努力の賜物だ。小さい頃は正直読書は好きではなかった。元々集中力のない私にとって活字を追いつつ何かを頭の中で構築していくということが苦手だったのである。母の薦める本にいちいち嫌な顔をし、ぶーたれて一ページ目からノロノロと読み進めていった。しかし最初のそこを突破すれば、大抵のめりこんで、「心が満たされる大好きな一冊」となったものだった。そして今、大人になった私の仕事は書店員である。

書店員の仕事といえば言わずもがな書籍の販売が主であるが、その中で最も大事な役割は、お客様が求める最も適した本を提供することだろう。それにはやはり、今までの読書量と経験がある程度必要で、場合によりネットや書店員同士のチームワークを駆使して本を探し出すこととなる。そこでカッコよく探し出して見せれば、お客様は納得のいく買い物ができし、うまくいけば、また店に来て

いただけるし。

結構前から本離れについて嘆く意見や、そうは言っても何を読めばいいのかわからないという声を耳にするが、本離れの原因の一つとして、やはりインターネットの普及が大きいだろう。ネットにかりきりになり、本に目がいかないのだ。たまに何かのきっかけで本屋に立ち寄ってみるも、どれを読めば楽しめるのかわからないし、段々面倒くさくなって結局また本屋とは疎遠になってしまいう、という悪循環が怖い。

それに「待った」をかけ、つなぎとめることができるのは誰か？書店員である。趣向を凝らして陳列したり、問い合わせに対して機転を利かせセンスを磨く努力をしたり、まずは本を手にとってもらうことを考えなくてはならない。本を読まないために、想像力貧困で視野の狭い人が増えているとも言われる。このことに日本人が気づくのはいつになるのだろうか。本の存在が見直され復活するなんてことが、私が書店員でいられる内に叶ってくれるのだろうか。

MARUZEN &

ジュンク堂書店渋谷店

石田はな子

本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(5・28~7・22)

●書評 ●紹介 ●関連記事

- 5・28 ⑧宮崎日日新聞「写真記録 これが公害だ」
⑨日本海新聞「写真記録 これが公害だ」
- 6・2 ⑩WEB RONZA「写真記録 これが公害だ」
- 6・4 ⑪朝日新聞「ハイン 地の果ての祭典」(山室恭子)
⑫北海道新聞「菜食への疑問に答える13章」
- 6・11 ⑬読売新聞「ハイン 地の果ての祭典」(土方正志)
- 6・18 ⑭西日本新聞「菜食への疑問に答える13章」
- 6・23 ⑮日刊ゲンダイ「ハイン 地の果ての祭典」
- 6月号 ⑯月刊地方自治職員研修「写真記録 これが公害だ」
⑰フレグランスジャーナル(化粧品科学研究開発専門誌)「菜食への疑問に答える13章」

- ⑱We Learn「近代化」は女性の地位をどう変えたか」
- 6/上 ⑲出版ニュース「写真記録 これが公害だ」
- 6/中 ⑳出版ニュース「ハイン 地の果ての祭典」
- 6/下 ㉑出版ニュース「植民地化の歴史」
- 7・2 ㉒東京新聞「グローバル・ジハードのパラダイム」(近刊)
- 7・11 ㉓AERA(アエラ読書部)「ハイン 地の果ての祭典」(星野博美)
- 7・22 ㉔図書新聞「植民地化の歴史」(小倉英敬)2017上半期読書アンケート

7月の増刷

ハイン 地の果ての祭典

[南米フエゴ諸島先住民セルクナムの生と死]
アン・チャップマン/大川豪司 訳

2刷
3000円

本を読む

新しい力

この国はどこに行くのだろうか。現在、一強と呼ばれる現政権だが、進むべき未来は明らかにされていない。現状を直視せず、スローガンに頼る危うさはいつの時代でも暗い結末につながる。しかし、この本を読むと明るい光が見えてくる。50の事例の中で地域から社会を変えようと試行錯誤する若者が、新たな結果を出しつつある。大切なのは政治家に「見えない未来」を託すのではなく、自分たちが動いて自分たちの未来をつくることだ。そういう「新しい力」が強く伝わってくる希望の書だと思う。

(武蔵野市 団体職員 竹内邦憲

59歳)

新装版 バルト海のほとりの人びと

私自身は今、かつての侵略戦争を遂行する内側にいた良識人たちに注目している。外交官杉原千畝氏に続く、最近TVドラマ化された武官小野寺信氏を記念番組で知

ることとなり、その妻、本書の著者である小野寺百合子氏の作品を知る機会を得た。人との結びつきを何よりも大切に、国境を越えた人間愛を育みながら、女性の地位向上と、次代を担う子どもたちに学ぶことの意味を伝えてきた生き様。その一辺を知ることとなった。(神戸市 まちづくりプランナー 山本敬二)

復刻版 きけ 小人物よ!

独特な文章で頭が痛くなるところも多々あるが、多くの示唆に富んでいて人間の本质をよくえぐっていると思う。70頁以降の内容にはとくに何度もうなずいた。(瀬戸市 講師 西井和弥 53歳)

好評刊

新装版 バルト海のほとりの人びと

(心の交流をもとめて) 小野寺百合子 一八〇〇円

戦争を指導した七人の男たち

(並行する歴史) マルク・フーバー／小野 潮訳 五五〇〇円

復刻版 きけ 小人物よ!

ウィルヘルム・ライヒ／片桐ユズル訳 二〇〇〇円 博画・赤瀬川原平

編集部から

▼「戦後72年」の夏である。やった側は忘れても、やられた側は忘れない。事故にしろ犯罪にしろ、やられた側は謝罪・補償・原因究明を求め続ける。自身の痛みのみならず、後世、二度と同じ過ちを繰り返してはならないとの思いが大きい。やった側に求められる贖罪は「忘れないこと」であろう▼「戦後70年」の年、M・フェロー著「戦争を指導した七人の男たち」を刊行。第二次大戦を右の視点で究明する書であった。本年春刊行の同著者による「植民地化の歴史」も、五百年来の「やった側・やられた側」の歴史である。我々はなぜ過去に学ばねばならないのか。今日の日本政治はその問いの意味を軽視、忘却している。謝罪・補償・原因究明の原則は、歴史が証明する人間の英知、最大の紛争予防、積極的非暴力平和主義への道である。

営業部から

▼丸善名古屋本店(第85回)丸善ゼミナール祝・全線開通80周年「飯田線ものがたり」川村カネトがつないだレールに乗って「刊行記念・太田朋子さん&神川靖子さんトークイベント開催」のお知らせ。日時・8月5日(土)15時〜/場所・1Fイベントスペース/定員30名(参加費無料・事前予約先着順)。愛知県・豊橋駅から長野県・辰野駅まで、総延長路線約200kmの飯田線。人気列車「秘境号」が伝える溪谷美あふれた沿線だよりから、険しい山々に敷かれた開通秘話まで、旅心そそるトークショー。詳しくは、丸善名古屋本店 電話052-238-0320(受付時間10〜21時)までお問い合わせください。

▼「飯田線ものがたり」刊行記念パネル展も丸善名古屋本店5階フロア、神田・書泉グランデ、豊橋・精文館書店本店にて開催中。歴史を感じさせるレアな写真が魅力的!お近くにお越しの際は、是非ご覧くださいませ。

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。